

# 2回の麻しん風しん予防接種はお済みですか？

定期予防接種は、  
無料で受けることができ、麻しん風しん予防に最も有効です。

麻しん風しんの定期予防接種は、  
2歳になるまでに1回と、小学校就学前に1回の**2回接種**が必要です。

MR2期  
対象

生年月日が**平成30年4月2日**～  
**平成31年4月1日**のお子さん

期間

**令和6年4月1日**～  
**令和7年3月31日**

忘れないでね！



●接種できる場所は**横浜市内の予防接種協力医療機関**です。

※事前に予約等の確認をしてください。予防接種協力医療機関については、  
横浜市ホームページをご覧ください。下記へお問い合わせください。

持参するもの

- 母子健康手帳（お子様の接種歴が確認できるもの）※1
- 健康保険証（お子様の生年月日と住所が確認できるもの）
- 予診票（接種券）（横浜市発行）※2

（※1）「母子健康手帳」をお持ちでない場合は、予防接種協力医療機関に「お子様の接種歴」  
を口頭でお伝えいただき、接種前にご相談ください。

（※2）「予診票(接種券)」は、対象の方に令和6年3月末頃に個別通知にてお送りしています。  
横浜市外から転入された方や紛失等でお手元に予診票がない場合は、下記へお問い合わせ  
ください。

お問い合わせ先



横浜市予防接種コールセンター  
TEL：平日9:00～17:00 土日祝日・年末年始除く  
FAX：045-664-7296  
予防接種のスケジュールや個別通知(案内)の送付など

横浜市ホームページ「予防接種について」

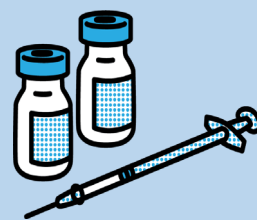
<https://www.city.yokohama.lg.jp/kenko-iryō-fukushi/kenko-iryō/yobosesshu/>

または  で検索

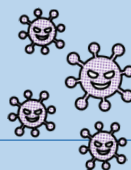


麻しん風しん混合（MR）ワクチンは

麻しん風しんにかからない**唯一の方法**です



## 1 麻しんって、どんな病気？



麻しんウイルスによる感染症です。

同じ空間にいただけでも感染してしまうほど**感染力が強く**、免疫を持っていない人が、感染している人に接すると**ほぼ100%の確率**で感染します。また、子どもだけでなく大人も重症になることがあります。

### 症状

発熱など風邪に似た症状から始まり、口の中に小さな白い斑点(コプリック斑)が出始めます。その後、**赤い発疹**が頭や顔から出始め、全身に広がります。

### 合併症

30%の人に何らかの**合併症**(脳炎や肺炎、中耳炎など)がでることがあり、ごく稀に、麻しんにかかってから10数年後に重い脳炎を発症することがあります。

### 治療

治療法はなく、解熱剤や点滴などの対症療法が中心です。そのため、**2回の予防接種**が重要です。

## 2 風しんって、どんな病気？

風しんウイルスによる感染症です。

感染力は麻しんほどではありませんが、咳やくしゃみによる飛沫を浴びることで感染します。妊娠中の女性が風しんに感染すると、おなかの赤ちゃんにも感染し、先天性風しん症候群を発症し、障がいが残ることがあります。

### 症状

リンパ節の腫れから始まり、**発熱**や**赤い発疹**などの症状が出現します。発疹や発熱は3日ほどでなくなります。

### 治療

治療法はなく、解熱剤や点滴などの対症療法が中心です。そのため、**2回の予防接種**が重要です。

## 3 ワクチン接種歴がわからないときは、どうしたら？

母子健康手帳にある「予防接種の記録」で確認してください。

### 標準の定期予防接種時期

**第1期** 生後12か月～24か月未満の間

**第2期** 小学校入学1年前の4月1日～  
入学する年の3月31日の間

## 4 1回目は接種したけど2回目も必要なの？

十分なワクチンの効果を得るには2回の接種が必要です。「麻しん単独ワクチン」と「風しん単独ワクチン」をそれぞれ1回ずつ、または「麻しん風しん混合(MR)ワクチン」を1回接種している場合でも、2回目の接種(今回)が必要です。